

令和5年度 福知山市 施策レビュー 【 当 日 資 料 】

日 時：令和5年7月22日（土） 9時30分～17時20分
23日（日） 9時05分～17時10分
場 所：市民交流プラザふくちやま 3階

ご来場のみなさまへ

1 施策レビューは自由に傍聴できます

- (1) いずれの施策についても自由に傍聴できます。
- (2) 一般傍聴席での録画・録音、撮影は原則として自由ですが、施策レビューの議論及び傍聴の支障とならない範囲で行ってください。
また、その使用に関しては、方法・状況等によりトラブルの原因となることもありますので、「使用者の責任」においてご使用ください。

2 傍聴時のマナーとしてお守りいただきたいこと

- (1) 施策レビュー実施中は、お静かに傍聴願います。施策レビューの議論は、コーディネーター、施策改善推進委員、施策改善市民パートナー、市説明者がそれぞれの役割に従って進めます。
傍聴者の皆さまに発言を求めることはありません。
- (2) 発言や拍手等の方法で意見を表明するなどの行為、横断幕やプラカード等で意思表示するなどの行為は慎んでください。特に進行の妨げとなるような場合には退室していただくことがあります。
- (3) 携帯電話はマナーモードに切り替えるか、電源をお切りください。
- (4) 会場への入退室は、施策レビューの妨げにならないようお静かにお願いします。

3 その他（注意事項）

- (1) 施策レビューのスケジュールは、進行状況により前後することがあります。
- (2) 傍聴人の方は会場内での飲食はできません。また、会場内を含め敷地内は全面禁煙です。
- (3) 会議運営等に伴う市の職員の指示に従っていただきますようお願いいたします。

皆さまのご協力をお願いいたします。



福 知 山 市

■お帰りの際に、施策レビューに関するアンケートにご協力ください。■

ごあいさつ

ご来場のみなさまにおかれましては、お忙しい中、「施策レビュー」にご参加いただきありがとうございます。

「まちづくり構想 福知山」は、本市の自治推進の最高規範である自治基本条例に基づき、幅広い市民のみなさまの参画のもと、65歳以上の高齢者人口がピークを迎え、社会経済環境が大きく変化すると見られている2040年に市民生活に潜むリスクを想定し、市民が幸せを生きるための将来像を掲げるとともに、それを実現するために2022年から5年間に取り組む具体的な施策を示す計画として、令和4年3月に策定いたしました。

この「まちづくり構想 福知山」の推進にあたっては、市民と行政が協働で取り組むものであることから、市の取り組む施策の進捗状況の点検、業務改善等を行うこととしております。

今回開催いたします「施策レビュー」は、政策目標の実現に向けた進捗状況や課題解決の取組等について、オープンな場で外部の視点による改善提案の観点を入れつつ、施策を着実に推進し、より良いものとするための熟議を行う場として昨年度試行的に実施したものを、今年度からは本格的に実施することといたしました。

市民の皆様と共に考え、共に作り、共に実行する本構想の実現に向けた取組を進めていくことで、市民が「幸せを生きる」まちを実現したいと考えておりますので、委員と職員との議論をお聴きいただき、一緒に考えていただければと思います。

令和5年7月22日

福知山市長 大橋 一夫

目 次

1 施策レビューの概要	・・・ 1
目的／基本的な考え方	
2 施策レビューの実施体制	・・・ 2
施策レビューにおける役割／施策改善推進委員名簿	
3 会場案内図及び会場レイアウト	・・・ 5
4 プログラムとタイムスケジュール	・・・ 7
5 進行手順と改善シートの記載方法	・・・ 9
6 「まちづくり構想 福知山」の長期ビジョンと政策の体系	・・・ 12
7 資料の種類と見方	・・・ 18
施策体系シート／施策指標シート／施策レビューシート／ 【補足資料】事務事業評価シート	
☆ 各施策の説明資料・参考資料	・・・別冊

1 施策レビューの概要

1-1 施策レビューとは

「まちづくり構想 福知山」で掲げる施策について、所管部署が毎年度、取組内容や成果指標の達成状況、改善の方向性等の自己点検・確認を行い、政策目標の実現に向けた取組や施策を構成する事業について不断の見直しを行うこと。

1-2 施策レビューの目的

- (1) 政策目標の実現に向けた進捗状況や課題解決の取組等について、外部の意見を得ながら多角的に検討を行い、政策目標の実現に向けた取組をより実効あるものに改善するとともに、各施策を構成する事業についても一体的に不断の見直しを図る。
- (2) 市民に広く公開された場で、施策改善推進委員と客観的な指標に基づき政策目標の実現に向けた取組が効率的・効果的に実施されているか議論を行うことで、行政の透明性を高め、市民への説明責任を果たすとともに、市民と行政の協働のまちづくりやコミュニケーションの促進を図るための共通認識を醸成する場とする。
- (3) 施策レビューでの議論を通じ、市職員の政策形成能力の向上を図る。

1-3 基本的な考え方

- (1) 施策レビューでは、政策目標の実現に向け施策上解決すべき課題を捉え、体系だてて課題解決の方向性を設定しているか、構成する事業が適切に位置づけられているかを議論します。
- (2) 改善すべき点や見直しの方向性について、市が本来果たすべき役割を改めて確認するとともに必要な改革に取り組みます。
- (3) 施策レビューでは、政策目標の実現に向け、各施策を構成する事務事業の役割、効果についても議論し、各事務事業が効率的・効果的なものとなるよう不断の見直しに繋げていきます。
- (4) 施策レビューにおける議論の結果は、市の最終判断となるものではありません。施策レビューでの議論、委員等からの意見等を厳粛に受け止め、市の方針決定するための重要な参考とするものです。

【用語の説明】

基本政策	65歳以上の高齢者人口がピークを迎え、社会経済環境が大きく変化すると見られている2040年に、市民生活が置かれているリスクを想定し、市民が幸せを生きるための将来像と、それを実現するための今後5年間の中核的な方針
政策目標	各基本政策を実現するために掲げる、分野ごとに達成すべき政策目標
施策	政策目標を達成するための方策
施策の成果指標	政策目標の達成に向けた各施策の取組の進捗度合いを測るための指標

※各用語の構成等具体的なことについては、12～17ページをご覧ください。

2

施策レビューの実施体制

2-1 施策レビューにおける役割

■コーディネーター

各グループで、施策レビューの進行役を務め、施策改善推進委員と説明者の間で有意義な議論が円滑に進むように促します。同時に、議論を整理しながら、必要な質問・指摘・解決手段の提起や取りまとめを行います。

■施策改善推進委員

説明者から施策及び施策に紐づく事業の説明を受け、質問を投げかけながら課題の指摘や課題解決の手段について提案を行う等、議論を行います。

■施策改善市民パートナー

施策改善推進委員と説明者との議論を聴き、施策及び施策に紐づく事業が効果的に実施されているかの確認するとともに、施策レビューで感じた意見・感想・改善提案等をシートに記入します。

■説明者

市の施策担当部課職員が、施策や事業の説明及び施策改善推進委員との議論を行います。

■事務局

市長公室経営戦略課の職員が、施策レビューの冒頭で施策及び成果指標の概要について説明を行います。

2-2 施策改善推進委員名簿

■22日(土)グループ①

役割	氏名	所属等
コーディネーター	田中 俊	・一般社団法人構想日本 プロジェクトマネージャー
施策改善推進委員	細見 祐介	・福知山市行政改革推進委員 ・公認会計士 税理士
施策改善推進委員	村尾 慎哉	・福知山市行政改革推進委員 ・公認会計士 税理士
施策改善推進委員	小瀬村 寿美子	・一般社団法人構想日本 特別研究員 ・元神奈川県厚木市こども未来部長
施策改善推進委員	渋谷 節子	・自治基本条例推進委員会委員 ・福知山公立大学 地域経営学部教授

■22日(土)グループ②

役割	氏名	所属等
コーディネーター	荒井 英明	・一般社団法人構想日本 特別研究員 ・神奈川県内陸工業団地協同組合 専務理事
施策改善推進委員	井上 拓	・福知山市行政改革推進委員 ・フューチャー株式会社 ITコンサルタント
施策改善推進委員	山内 敬	・元滋賀県高島市副市長 ・ティーエムエルデ株式会社 営業企画部
施策改善推進委員	中田 華寿子	・一般社団法人構想日本 理事 ・アクチュアリ株式会社 代表取締役
施策改善推進委員	杉山 俊輔	・自治基本条例推進委員会委員 ・ニンバリ株式会社 代表取締役社長

■23日（日）グループ①

役割	氏名	所属等
コーディネーター	田中 俊	・一般社団法人構想日本 プロジェクトマネージャー
施策改善推進委員	浦尾 たか子	・福知山市行政改革推進委員 ・京南倉庫株式会社 常務取締役
施策改善推進委員	深尾 昌峰	・福知山市行政改革推進委員 ・龍谷大学 副学長 政策学部教授
施策改善推進委員	小瀬村 寿美子	・一般社団法人構想日本 特別研究員 ・元神奈川県厚木市こども未来部長
施策改善推進委員	和田 理恵	・自治基本条例推進委員会委員 ・元福知山市障害者計画策定委員

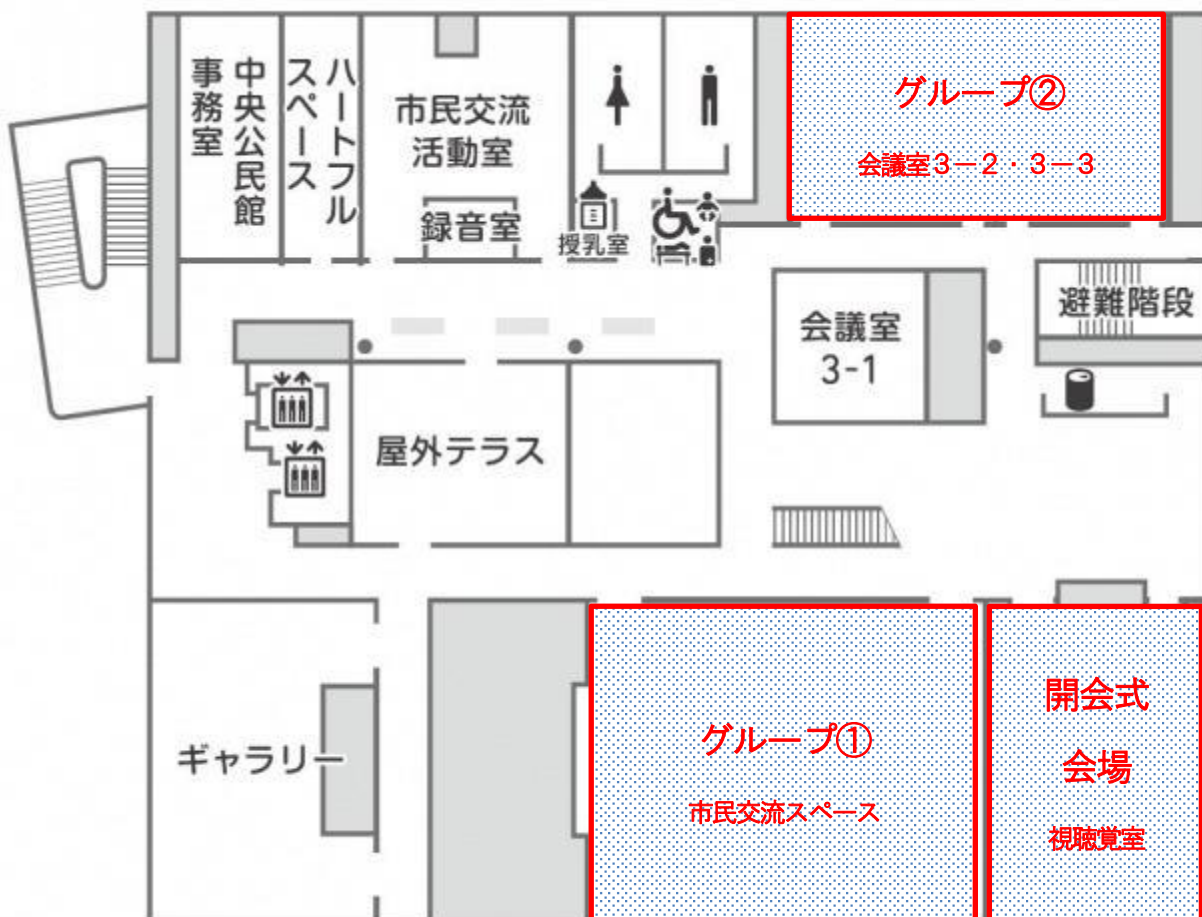
■23日（日）グループ②

役割	氏名	所属等
コーディネーター	荒井 英明	・一般社団法人構想日本 特別研究員 ・神奈川県内陸工業団地協同組合 専務理事
施策改善推進委員	井上 拓	・福知山市行政改革推進委員 ・フューチャー株式会社 ITコンサルタント
施策改善推進委員	菊田 学美	・福知山市行政改革推進委員 ・行政書士 社会保険労務士
施策改善推進委員	中田 華寿子	・一般社団法人構想日本 理事 ・アクチュアリー株式会社 代表取締役
施策改善推進委員	水口 一也	・自治基本条例推進委員会委員 ・毛原の棚田ワンダービレッジプロジェクト 代表

3 会場案内図及び会場レイアウト

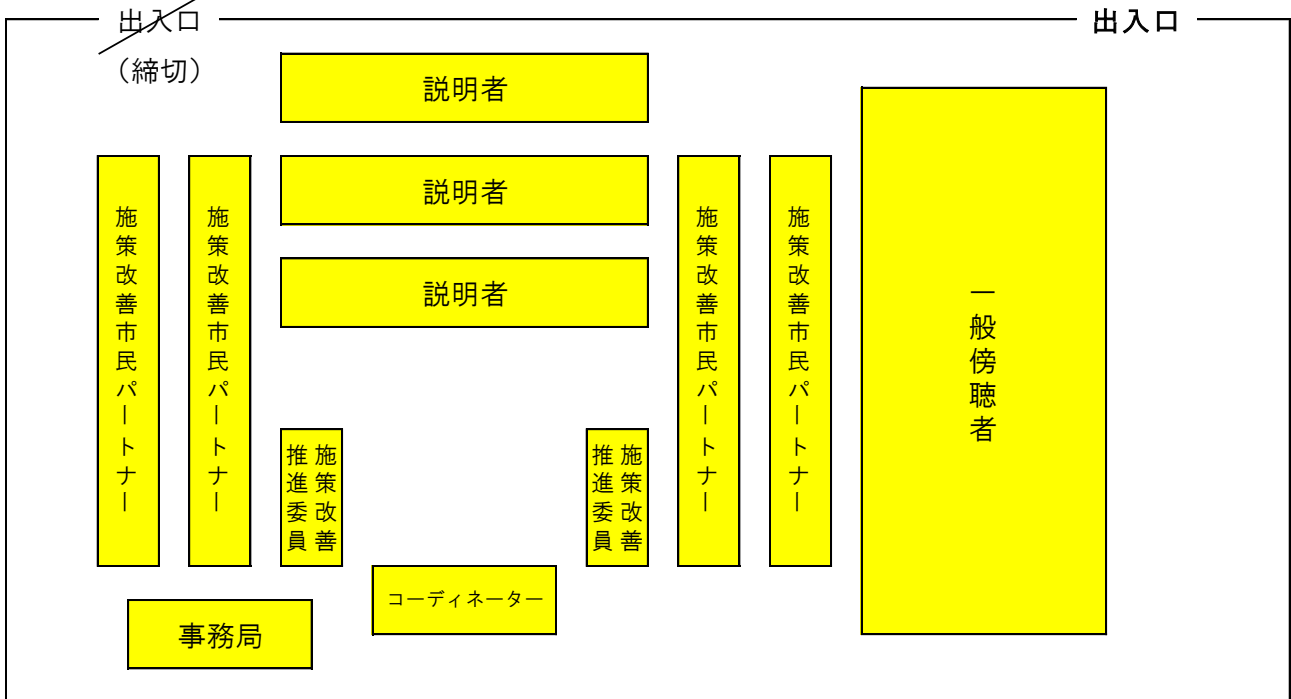
3-1 会場案内図

3階

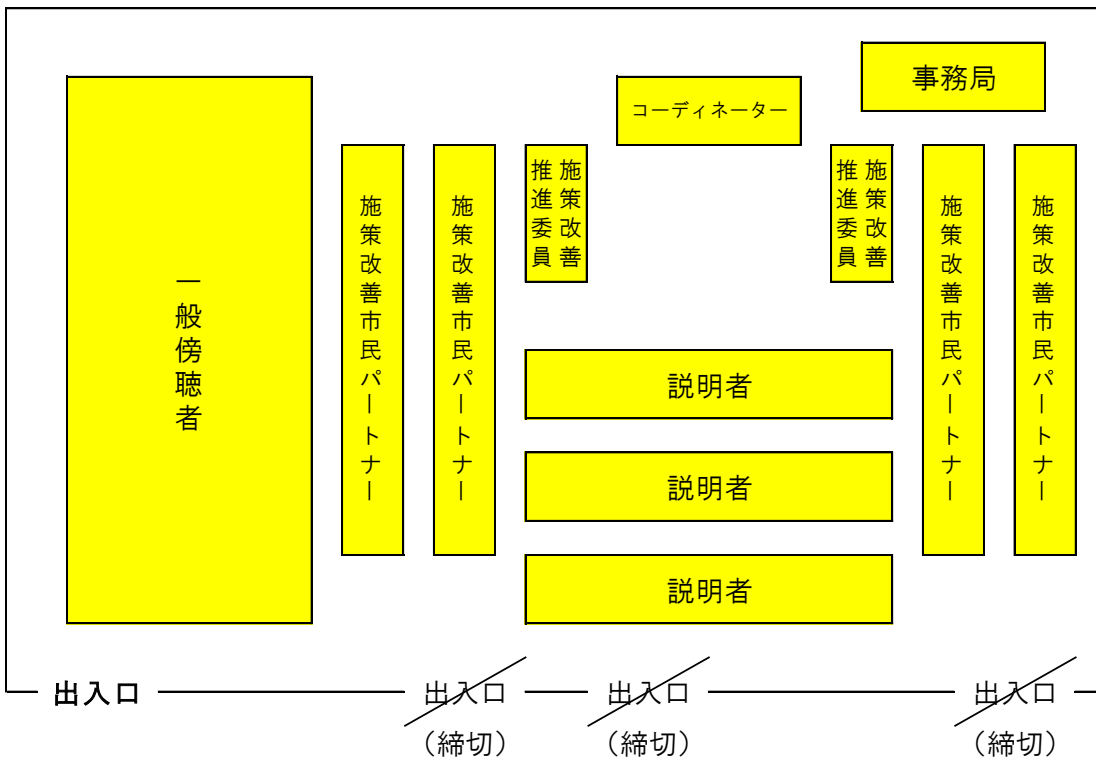


3-2 会場レイアウト

市民交流スペース（グループ①）【市民交流プラザ3階】



会議室 3-2・3-3（グループ②）【市民交流プラザ3階】



4

プログラムとタイムスケジュール

■7月22日(土)

9:30～9:45 開会式(視聴覚室)

9:50～17:20 施策レビュー(以下のとおり)

グループ①(市民交流スペース)

基本政策1:市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち

No	予定時間	施策担当部	施策名
1	9:50～10:00	事務局	基本政策1について(概要説明)
2	10:00～11:30	地域振興部	【協働・共創のまちづくり基盤の整備】 1-1-1 地域組織や地域活動の活性化
3	11:40～13:10	地域振興部	【協働・共創のまちづくり基盤の整備】 1-1-2 地域課題の解決に向けた仕組みの構築
休憩			
4	14:10～15:40	地域振興部	【地域に参画する新たな担い手の拡充】 1-3-1 良質な住宅ストックの形成と移住促進
5	15:50～17:20	市長公室	【地域に参画する新たな担い手の拡充】 1-3-2 関係人口としての福知山ファンの獲得

グループ②(会議室3-2・3-3)

基本政策8:市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち

No	予定時間	施策担当部	施策名
1	9:50～10:00	事務局	基本政策8について(概要説明)
2	10:00～11:30	産業政策部	【DXを生かした商業・サービス業の活性化】 8-2-1 商店街や個店の魅力向上支援
3	11:40～13:10	産業政策部	【DXを生かした商業・サービス業の活性化】 8-2-2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進
休憩			
4	14:10～15:40	産業政策部	【稼ぐ力のある農林業の確立】 8-3-1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境にやさしい農林業の推進
5	15:50～17:20	産業政策部	【稼ぐ力のある農林業の確立】 8-3-2 有害鳥獣対策の推進

■7月23日(日)

9:05～16:45 施策レビュー (以下のとおり)

16:55～17:10 閉会式

グループ① (市民交流スペース)

基本政策1：市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち

基本政策3：市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち

No	予定時間	施策担当部	施策名
1	9:05～9:15	事務局	基本政策1について(概要説明)
2	9:15～10:45	建設交通部 福祉保健部	【持続性のある移動手段の確保】 1-2-1 日常生活ニーズに応じた外出・訪問サービスの確保 1-2-2 持続可能な公共交通の制度設計・運営
3	10:55～11:05	事務局	基本政策3について(概要説明)
4	11:05～12:35	人権推進室	【互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造】 3-1-1 偏見や差別のない多様性の尊重と理解促進
休憩			
5	13:35～15:05	人権推進室	【互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造】 3-1-2 人権を尊重した地域生活の確立
6	15:15～16:45	人権推進室 福祉保健部	【互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造】 3-1-3 多文化共生とユニバーサル社会の推進

グループ② (会議室3-2・3-3)

基本政策5：市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち

基本政策8：市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち

No	予定時間	施策担当部	施策名
1	9:05～9:15	事務局	基本政策8について(概要説明)
2	9:15～10:45	産業政策部	【地域経済を支える産業の振興】 8-1-1 既存企業の成長促進と中核企業の誘致・定着の促進
3	10:55～12:25	産業政策部	【地域経済を支える産業の振興】 8-1-2 産官学金連携を通じた経営力の強化
休憩			
4	13:25～14:55	産業政策部	【地域経済を支える産業の振興】 8-1-3 新産業の育成と起業支援の充実
5	15:05～15:15	事務局	基本政策5について(概要説明)
6	15:15～16:45	地域振興部	【アクティブに人生を歩める生きがいづくり】 5-1-2 生活の質を高める文化・芸術活動の振興

5 進行手順と改善シートの記載方法

5-1 進行手順

次の手順により、1施策あたり90分で議論を深め、参画者の意見を取りまとめます。

1 施策及び成果指標の概要説明

5分

事務局職員（経営戦略課）が、施策及び成果指標の設定等について概要説明を行います。

2 政策目標の実現に向けた課題及び課題解決に向けた取組状況について説明

10分

市の担当職員が、政策目標の実現に向けて掲げる施策について、施策体系シート等に沿って課題認識、課題解決に向けた取組の方向性や取組状況など今後の方向性について説明します。

3 質疑応答及び議論

60分

施策改善推進委員が、政策目標の実現に向けての課題認識や対応の方向性などについて質問を行います。また、具体的な取組内容について効果がみられるかなどの確認も行いながら、取組の方向性など政策目標の実現に向けてどうすべきかについて議論を深めます。

4 施策改善推進委員の意見とりまとめ（意見・提案）

10分

施策改善推進委員及び施策改善市民パートナーは、政策目標の実現に向け「①課題が明確になっているか」、「②取組の方向性は合っているか」、「③施策を構成する事業の重点付けができていないか」の3点から施策の有効性や意見について改善シートに記載します。
また、コーディネーターが施策改善推進委員及び施策改善市民パートナーからの改善意見を取りまとめます。

5 意見とりまとめ結果発表・まとめ

5分

コーディネーターが意見とりまとめ結果を発表します。

5-2 役割別進行手順

1 基本政策の概要説明（各日の冒頭及び基本政策の変わり目ごとの冒頭10分）

2 施策レビュー（90分）

	コーディネーター	施策改善推進委員	事務局・説明者	施策改善市民パートナー
施策・成果指標等の概要説明 (5分)			市事務局が施策体系シート等により説明	
市（担当部）説明 (10分) 【説明項目】 ①政策目標の実現に向けた施策上の課題 ②取組、事業展開の方向性 ③事業成果			説明者が施策体系シート等により説明	
質疑応答1 【事実確認の質疑】 (10分)	コーディネーターと施策改善推進委員から、市説明に関して事実確認の質疑 ※市の説明及び資料等において、確認すべき事実の整理		質疑への回答	事実確認の整理を聞き、必要な部分は各自でメモ
質疑応答2 【課題設定及び課題解決が政策目標へ繋がるか】 (25分)	コーディネーターと施策改善推進委員から、市説明項目①、②に関して質疑 ①政策目標の実現に向けた施策上の課題 ②取組、事業展開の方向性		質疑への回答	・議論を聞きながらメモ ・感想、意見、意見区分等、自身の考えを整理
質疑応答3 【取組の成果や施策の有効性について】 (25分)	コーディネーターと施策改善推進委員から、市説明項目③に関して質疑 ③事業成果		質疑への回答	・議論を聞きながらメモ ・感想、意見、意見区分等、自身の考えを整理
改善シートの記載及び回収 施策改善推進委員の意見のまとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策改善推進委員の意見のまとめ ・ 施策改善推進委員から改善提案とりまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意見の発表（挙手） ・ 改善提案 	施策改善市民パートナーからシートを回収 施策改善市民パートナーのシートの意見を集計	改善シートに意見等記載記載したシートを事務局職員へ提出
全体のまとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策改善市民パートナーの意見発表 ・ 議論のまとめ 			

5-3 改善シートの記載方法

施策改善推進委員及び施策改善市民パートナーは、「Ⅰ 政策目標の実現に向けた施策の取組について」と「Ⅱ 施策の有効性について」の2つの観点で意見整理を行います。

「政策目標の実現に向けた施策の取組について」では、3つの項目により取組内容や取組状況を確認し、施策の有効性について判断します。

Ⅰ 政策目標の実現に向けた施策の取組について

項目	意見区分		
	そう思う (明確になっている)	どちらとも いえない	そう思わない (明確になっていない)
1. 課題が明確になっているか	そう思う (明確になっている)	どちらとも いえない	そう思わない (明確になっていない)
2. 取組の方向性は合っているか	そう思う (方向性は合っている)	どちらとも いえない	そう思わない (方向性がバラバラ)
3. 施策を構成する事業の重点付けが できているか	そう思う (事業の重点付けができている)	どちらとも いえない	そう思わない (事業の重点付けができている)

- ・施策レビューは、政策目標の実現に向けて各施策を着実に推進し、かつ、その効果を高めていくことを主眼に置いています。
- ・施策改善推進委員及び施策改善市民パートナーは、議論を通じ、課題の捉え方・取組の方向性・施策を構成する事業の重点配分について、それぞれの項目で意見区分を判断し記載します。

Ⅱ 施策の有効性について

項目	意見区分	
	有効である	有効ではない
政策目標の実現に向けた施策の有効性	有効である	有効ではない

- ・この項目は、政策目標を達成する手段として、市の掲げる施策の有効性を整理いただくものです。

「Ⅰ 政策目標の実現に向けた施策の取組について」での意見内容を踏まえて、施策が十分に機能していると思われる場合は「有効である」を、施策の取組は必要ではあるが、有効性は不十分であると思われたら「有効ではない」を選択いただけます。

- 最終とりまとめは後日、事務局（市経営戦略課）で公表します。
- 施策レビューでいただいたご意見は、そのまま市の最終判断となるものではありません。施策レビューでの議論やいただいたご意見を踏まえ、施策を所管する市担当部課が改善を検討し、今後の取組に活かしていきます。

1 「まちづくり構想 福知山」の全体構成



「まちづくり構想 福知山」は、「市民と共に考え、市民と共に作り、市民と共に実行する」計画として目標とすべき

①長期ビジョン（2040年の将来像）

を定め、それを実現するために

②市が取り組むまちづくり（施策の体系）

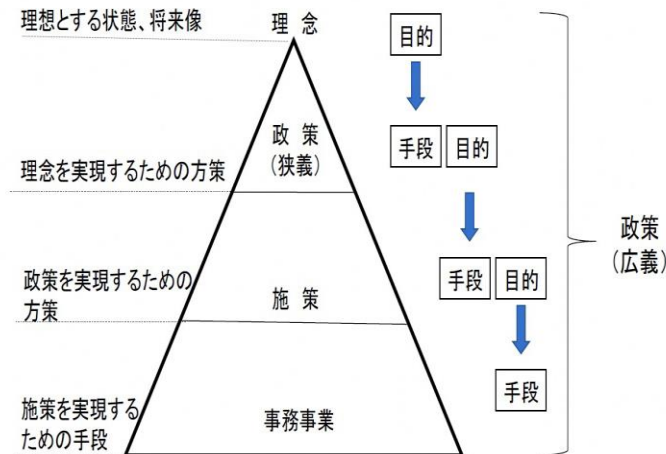
と

③市民が取り組むまちづくり
（市民懇談会の21の提案）

の両輪で取り組むこととしています。

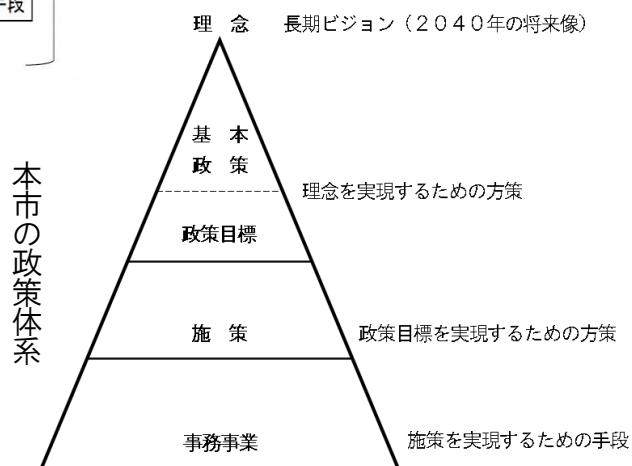
2 政策体系(政策の構造)

「市が取り組むまちづくり」を構成している政策体系については、総務省が体系化しているものになっています。



○政策は階層性を持つ。

- ・「目的—手段（目的）—手段（目的）—…」という関係が連鎖的につながる体系（より高次の目的を達成するための手段、さらにその手段の実現を目的として、これを達成するための手段…といった関係が階層的に連鎖）
- ・この「目的—手段」の連鎖からなる体系を「政策体系(政策の構造)」という。



3 市民が幸せを生きるための将来像（長期ビジョン）

市民が幸せを生きるための将来像	内容
ほどよい距離感で、さりげない支え合いに幸福を感じるまち （「ありがとう！つながりと感謝の因子」より）	これからの時代は、地域での支え合いがますます大切となります。例えば、身体が不自由で普段は支えられる側の人でも、困っている人のためにできることがきっとあるはず。誰もが、自分のできる範囲で、お互いに支え合う。そんな日々の営みに幸せを感じるができるまちをめざします。
多様性や個性を尊重し、自分なりに歩めるなかに幸福を見いだすまち （「ありのままに！独立とマイペースの因子」より）	年齢や性別、国籍、障害の有無などに関わらず、それぞれの人がそれぞれの思いで、夢を叶えようとする。それを周りの人が認め、応援する。誰ひとりとしてまったく同じ人のいないこの世の中で、一人ひとりの違いを認め合い、支え合う。誰もが、自分なりの歩み方で幸福を見いだすことができるまちをめざします。
いつでも前向きに、お互いを高め合うことで幸福を呼びこむまち （「何とかなる！前向きと楽観の因子」より）	いつ、どのようなタイミングでも、好奇心をもって人生を楽しむ。学び、スポーツ、仕事。生涯を通して、様々な機会を通して学び、成長しようとする。自分にあった趣味を見つけたり、いくつになっても生涯現役を貫いたりする。そんな活動的な人生をおくり、他者との交流を通じてお互いを高め合い、幸福を呼び込むまちをめざします。
チャレンジ精神にあふれ、努力と創意工夫を重んじて幸福をつなげるまち （「やってみよう！自己実現と成長の因子」より）	歴史が物語るように偉大な一歩は新たなチャレンジから始まります。激しく変化していく時代の中だからこそ、新たな試みを揶揄したり卑下したりすることなく、まずはやってみる、ダメなところは改善する、ゴールをめざして努力と創意工夫で果敢に挑んでいく。そんなチャレンジ精神あふれた人の行動が伝播し、まちづくりやビジネスの可能性が広がり、幸せが繋がっていくまちをめざします。

3-1 幸福の4因子 将来像を描く際には、会社経営やコミュニティづくりで用いられる「幸福学」の「幸福の4因子」の考え方を取り入れています。

○「ありがとう！つながりと感謝の因子」

社会の中で生きている人は、周りの人とのつながりのなかで幸せを感じる。多様なつながりや、利他性（他人のために貢献したい気持ち）が強い人ほど幸せになる。

○「ありのままに！独立とマイペースの因子」

自分に集中し、いわば「本当の自分らしさ」を探して磨くこと、自分の好きなことや得意なこと、ワクワクすることを突き詰めていくと、自分でも知らなかった「本当の自分らしさ」にたどり着ける。

○「何とかなる！前向きと楽観の因子」

「ポジティブに考える」こと、常に「何とかなる」と考えていれば、必要以上に挑戦を恐れることなく、行動に踏み出しやすくなる。

○「やってみよう！自己実現と成長の因子」

夢や目標に向かって「やってみよう」と主体的に努力を続けられる人は、何も行動を起こさない人よりも幸せになる。

4 見えてきた市民生活の社会的なリスク(キーワード)



掛け
合わせる

地域活動のあり方	自治会役員の担い手不足や超高齢化 など
自然環境・地域資源の保全・活用	市の文化活動の核となる取組や拠点の不足 など
子どもの育み	身近な場において限りのある障害のある子どもへの支援 など
自分らしい学び	家庭の経済状況に左右される子どもの学び など
健康・生きがい	様々なストレスが蔓延する中での身体的、精神的、社会的な健康の維持・増進の難しさ など
最期まで生き生きとした暮らし	高齢者のみ世帯における老々介護 など
魅力的な働き方	起業の機会や時代に合った多様な働き方の選択肢の少なさ など
地域産業の発展	稼ぐ力の弱い経営をしている農林水産業者 など

※詳細は、冊子「まちづくり構想 福知山」13～14ページをご覧ください。



5 基本政策

「3 市民が幸せを生きるための将来像(長期ビジョン)」に「4 見えてきた市民生活の社会的なリスク」を掛け合わせて、概ね8つの政策の方向として取りまとめました。その8つの政策の推進のための社会的基盤(いわゆるハード)を整備するという1つの政策を合わせて、以下の9つの基本政策を打ち出しました。

市民一人ひとりが、

- ① まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち
- ② 自然や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち
- ③ お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち
- ④ いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち
- ⑤ その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち
- ⑥ 最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち
- ⑦ 生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が生かされるまち
- ⑧ 時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち

上記①～⑧の推進にあたり、

- ⑨ 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち

(基本政策1)

市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち

政策目標1-1 協働・共創のまちづくり基盤の整備

- 施策① 地域組織や地域活動の活性化
- 施策② 地域課題の解決に向けた仕組みの構築

指標（政策目標）	現況	目標
まちづくり活動に関わったことがある人の割合	—	80%

政策目標1-2 持続性のある移動手段の確保

- 施策① 日常生活ニーズに応じた外出・訪問サービスの確保
- 施策② 持続可能な公共交通の制度設計・運営

指標（政策目標）	現況	目標
日常的な通勤・通学・買い物・受診・行政手続きの手段の確保が困難な人の割合	—	0%

政策目標1-3 地域に参画する新たな担い手の拡充

- 施策① 良質な住宅ストックの形成と移住促進
- 施策② 関係人口としての福知山ファンの獲得

指標（政策目標）	現況	目標
まちづくり活動に市外の人と一緒に参加した人の割合	—	50%

(基本政策3)

市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち

政策目標3-1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造

- 施策① 偏見や差別のない多様性の尊重と理解促進
- 施策② 人権を尊重した地域生活の確立
- 施策③ 多文化共生とユニバーサル社会の推進

指標（政策目標）	現況	目標
個人の尊厳や人権を重んじ、自らの行動や振る舞いを意識している人の割合	—	100%

(基本政策5)

市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち

政策目標5-1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり

- 施策② 生活の質を高める文化・芸術活動の振興

指標（政策目標）	現況	目標
文化・芸術活動実施率	87.1% (2017(H29)年)	90%

(基本政策8)

市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち

政策目標8-1 地域経済を支える産業の振興

- 施策① 既存企業の成長促進と中核企業の誘致・定着の促進
- 施策② 産官学金連携を通じた経営力の強化
- 施策③ 新産業の育成と起業支援の充実

指標（政策目標）	現況	目標
市内総生産額	390,885百万円 (推計)	406,661百万円

政策目標8-2 DXを生かした商業・サービス業の活性化

- 施策① 商店街や個店の魅力向上支援
- 施策② 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進

指標（政策目標）	現況	目標
卸売・小売業および宿泊・飲食 サービス業の産出額	43,447百万円 (推計)	44,889百万円

政策目標8-3 稼ぐ力のある農林業の確立

- 施策① スマート農林業及び稼げる農林業、環境にやさしい農林業の推進
- 施策② 有害鳥獣対策の推進

指標（政策目標）	現況	目標
農業産出額	6,100百万円 (2019 (R1) 年)	8,930百万円
林産物（素材）の生産額	310百万円 (2019 (R1) 年)	430百万円

7

資料の種類と見方

7-1 資料の種類

資料は「説明資料」、「補足資料」、「参考資料」の大きく3つに分かれており、主に「説明資料」を基に議論を行います。

■説明資料

(1) 施策体系シート（19～20ページ）

施策について、政策目標の実現のために解決すべき課題、課題解決に向けて取り組むべき対応の方向性及び取組内容（事業）を体系的に表したシート

(2) 施策指標シート（21～22ページ）

施策ごとに政策目標や施策、重点事業の成果指標について、令和8年度の目標値とこれまでの実績を表したシート

(3) 施策レビューシート（23～24ページ）

施策ごとに各施策担当部・課で実施した自己点検と、これまでの実績や構成している事業の説明及び予算・決算を表したシート（上記（1）（2）の基となるシート）

■補足資料

(4) 事務事業評価シート（25～28ページ）

各施策を構成する事務事業について、事業ごとに説明したシート

(5) 各施策の説明資料

各施策の取組等を議論する上で、説明の根拠となる資料

■参考資料

各施策の議論において参考となる資料

7-2 施策体系シートの見方

施策体系シート

施策体系シート		オ 施策を構成する事業（重点事業・新規事業）		カ 施策を構成する事業（その他の事業）
施策名	基本政策	事業名 (令和5年度当初予算額)	担当課	カ 施策を構成する事業 (その他の事業)
①	②			
③	④			
⑤ ア 政策目標の実現のために (施策上) 解決すべき課題 ※「まちづくり構想 福知山」策定時	⑥ イ 対応の方向 (左記の課題解決に向けて 取り組むべき方向性) ※「まちづくり構想 福知山」策定時	⑨ (a-1) ○○事業 (1)	⑩ ○○課	⑪ (a-1) ○○事業 ・(b-2) (2) ○○事業 ・ ・
(A) ○○○○ (B) ○○○○ ・	* a-1) ○○○○ (b-1) ○○○○ (b-2) ○○○○	(b-1) ○○事業	○○課	・ ・ ・
(A) の取組の方向性は (a) として 関係性を表しています。		(b-2) ○○事業 (2)	○○課	キ 基本政策又は 政策目標達成のために 寄与する事業 (関連事業) ⑫ ・○○事業 (0-0- ○)
⑦ ウ アの策定以降、令和4年度末時点で 認識している課題	⑧ エ 対応の方向 (左記の課題解決に係る 令和5年度の取組の方向性)	(3) ○○事業	○○課	⑫
【Aから派生】①○○○ 【Bから派生】②○○○ 【新規】③○○○○○ ・	1) ○○○○ (2) ○○○○ (3) ○○○○ ・	⑥及び⑧の対応の方向性と対応する符号 をつけています。(カについても同じ。)		
①の取組の方向性は (1) として関係性 を表しています。				
※以下の場合、文頭に「以降」の記号を記載 ・新たに発生した課題=【新規】 ・アから派生した課題=【派生】 ・上記にあてはまらない課題=【その他】		※事業名の後に「施策体系コード」を記入		

【シートを見る際のポイント】

- (1) ⑤「ア 政策目標の実現のために（施策上）解決すべき課題」、⑥「イ 対応の方向」は、「まちづくり構想 福知山」策定時（令和3年度）の課題と対応の方向性となっており、策定以降市が施策の取組をおこなう中で出てきた課題と対応の方向性を⑦「ウ アの策定以降、令和4年度末時点で認識している課題」、⑧「エ 対応の方向（課題解決に係る令和5年度の取組の方向性）」に記載しています。
- (2) ⑥「イ 対応の方向」及び⑧「エ 対応の方向（令和5年度の取組の方向性）」に対応する事業のうち、市が重点的に取り組んでいる事業や新規事業を⑨「事業名」に記載しています。
- (3) 上記（2）の⑨「事業名」以外の取組事業は⑪「カ 施策を構成する事業（その他の事業）」に記載しています。また、事業成果が基本政策や政策目標の達成に直接寄与する事業は⑫「キ 基本政策又は政策目標達成のために寄与する事業（関連事業）」に記載しています。

施策体系シートの解説

様式中参照	項目	表の見方・解説
①	基本政策	「まちづくり構想 福知山」の長期ビジョンに掲げる「市民が幸せを生きるための将来像」を実現するための中核的な方針となる基本政策名を記載しています。
②	政策目標	各基本政策を実現するため、分野ごとに達成すべき政策目標を記載しています。
③	施策	「まちづくり構想 福知山」における施策名を記載しています。
④	担当部	施策を担当する主要部署を記載しています。
⑤	ア 政策目標の実現のために(施策上)解決すべき課題	政策目標の実現のために施策推進において解決すべき課題を記載しています。
⑥	イ 対応の方向	⑤に記載する課題の解決に向けて取り組むべき方向性を示しています。(A)の取組の方向性は(a)として関係性を表しています。
⑦	ウ アの策定以降、令和4年度末時点で認識している課題	令和4年度末時点での施策についての課題認識を記載しています。 ⑤以降新たに発生した課題には「【新規】」、⑤から派生した課題には「【○から派生】」と表記しています。
⑧	エ 対応の方向 (課題解決に係る令和5年度の取組の方向性)	令和4年度末時点での施策についての課題認識を踏まえ、令和5年度に既に取り組んでいること及び取り組む予定としていることを記載しています。①の取組の方向性は(1)として関係性を表しています。
⑨	事業名	施策を構成する事業で重点度の高いものを記載しています。⑥及び⑧の対応の方向性と対応する符号をつけています。(⑪についても同じ。)
⑩	担当課	施策を構成する各事業の担当課名を記載しています。
⑪	カ 施策を構成する事業 (その他の事業)	施策を構成する事業で⑨に比べ重点度の低いものを記載しています。
⑫	キ 基本政策又は政策目標達成のために寄与する事業 (関連事業)	施策を構成する事業にはならないものや他の施策を構成する事業で、事業の成果が基本政策又は政策目標達成のために寄与する事業を記載しています。 (⑨及び⑪に記載の事業は除く) 施策体系コードを記入し、どの施策を構成している事業かわかるように記載しています。

7-3 施策指標シートの見方

施策指標シート

施策名		施策を構成する事業（重点事業・新規事業）		⑦ 事業のアウトカム（成果実績）（実績値／目標値）									
基本政策	①	②											
担当部													
政策目標	成果指標	事業名（令和5年度当初予算額）		指標	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R8目標		
		⑤	⑥										
③ 単位 R4 R8目標	④ 単位 R4 R8目標												

【シートを見る際のポイント】

- (1) 施策体系シート（19～20ページ）の⑨「事業名」に記載している事業を本シートの⑤「事業名」に記載し、その事業の成果実績を⑦「事業のアウトカム（成果実績）」に記載しています。
- (2) ③「政策目標成果指標」、④「施策成果指標」に記載している指標は、「まちづくり構想 福知山」に掲げる令和8年度の目標と令和4年度まで取り組んできた実績値を記入しています。
- (3) ⑦「事業のアウトカム（成果実績）」には、過去からの経過を把握するため平成30年度以降の実績値を記載しています。（令和4年度以前は、「まちづくり構想 福知山」策定前の実績値）なお、実績値が把握できない年度については「－」（ハイフン）を記載しています。

施策指標シートの解説

様式中 参照	項目	表の見方・解説
①	基本政策	「まちづくり構想 福知山」の長期ビジョンに掲げる「市民が幸せを生きるための将来像」を実現するための中核的な方針となる基本政策名を記載しています。
②	担当部	施策を担当する主要部署を記載しています。
③	政策目標成果指標	「まちづくり構想 福知山」における政策目標に係る成果指標を記載しています。
④	施策成果指標	「まちづくり構想 福知山」における施策に係る成果指標を記載しています。
⑤	事業名	施策を構成する事業で重点度の高いものを記載しています。
⑥	担当課	施策を構成する各事業の担当課名を記載しています。
⑦	事業のアウトカム (成果実績) (実績値/目標値)	⑤の事業ごとの指標の令和8年度目標及び令和4年度以前、過去5年間の実績値を記載しています。 平成30年度から令和3年度までについては、「まちづくり構想 福知山」策定前の実績値となります。

7-4 施策レビューシートの見方

令和5年度 施策レビューシート

対象施策		4				施策コード	
施策の体系	基本政策	1				関連計画	6
	政策目標	2					
	政策目標の成果指標	指標名	3	基準値	目標値 (R8)		
	施策	4 (再掲)					
施策の概要	5						

(単位:千円)

	予算(当初予算)	決算(執行額)	概算人件費	従事職員数(正職員)	従事職員数(非常勤嘱託職員)
R8					
R7					
R6					
R5					
R4					

施策主担当部	8			
施策担当部				
施策担当部				
施策担当部				
施策担当課	(1)		(6)	
	(2)		(7)	
	(3)	9	(8)	
	(4)		(9)	
	(5)		(10)	

1. 施策の成果指標 ※【評価基準】s:105%以上、a:95%以上105%未満、b:85%以上95%未満、c:85%未満

指標名	基準値	年度	目標値	実績値	達成率	評価	備考
10		R8					
		R7					
		R6					
		R5					
		R4					

2. 一次レビュー(自己評価)

年度	政策目標の実現のために解決すべき課題(成果指標の進捗状況も踏まえて記入)	左記の課題に対して何を取り組むことができたか
R4	【令和3年度末時点での政策目標の実現のための課題認識】	【(令和4年度末時点で記入)令和4年度に前年度末時点での課題に対して取組んだ内容】
		11

3. 二次レビュー(外部評価)

二次レビュー(外部評価) ※該当施策のみ記入	【検証委員、市民評価者から受けた主な指摘事項、改善提案】 (箇条書き)	12
実施年度		

4. 施策を構成する事業について改善の方向性(事業構成の適正性(拡充・継続・縮小するべき等)の観点から次年度に向けた改善点を事業ごとに記載)

令和4年度	【令和3年度末時点】令和4年度に向けた事業改善の方向性	13
-------	-----------------------------	----

5. 施策を構成する事業(政策目標の実現に向けた重点事業・新規事業) ※項目6から転記

(単位:千円)

事業名	事業目的 (政策目標の実現に向けて事業が果たす役割)	事業概要(箇条書き)	年度	予算	決算	概算	従事	従事	担当課 番号
				(当初予算)	(執行額)	人件費	職員数 (正職)	職員数 (非常勤嘱託)	
14			R8						
			R7						
			R6						
			R5						
			R4						
			R8						
			R7						
			R6						
			R5						
			R4						

6. 施策を構成する事業(項目5に記載した事業以外) ※事務事業評価シートから転記

事業名	事業目的 (政策目標の実現に向けて事業が果たす役割)	事業概要(箇条書き)	年度	予算	決算	概算	従事	従事	担当課 番号
				(当初予算)	(執行額)	人件費	職員数 (正職)	職員数 (非常勤嘱託)	
15			R8						
			R7						
			R6						
			R5						
			R4						
			R8						
			R7						
			R6						
			R5						
			R4						

施策レビューシートの解説

様式中 参 照	項目	表の見方・解説
①	基本政策	「まちづくり構想 福知山」の長期ビジョンに掲げる「市民が幸せを生きるための将来像」を実現するための中核的な方針となる基本政策名を記載しています。
②	政策目標	各基本政策を実現するため、分野ごとに達成すべき政策目標を記載しています。
③	政策目標の成果指標	政策目標の達成に向けて、各施策推進によりもたらされる成果を示す指標を記載しています。 (指標名・基準値・目標値)
④	対象施策	政策目標を達成するための方策として、「まちづくり構想 福知山」における施策名を記載しています。
⑤	施策の概要	施策の要旨を記載しています。
⑥	関連計画	「まちづくり構想 福知山」の施策に関連する分野ごとの個別計画を記載しています。
⑦	会計情報	施策に紐づく全事業の会計情報を記載しています。 (当初予算額、決算額、概算人件費、従事職員数(正職員・非常勤嘱託職員))
⑧	施策担当部	施策レビューシートをとりまとめる担当部名を記載しています。
⑨	施策担当課	施策を構成する各事業の担当課名を記載しています。
⑩	施策の成果指標	各施策を実現に向けて、具体的な取組の進捗度合いを測るための指標を記載しています。
⑪	一次レビュー(自己評価)	令和3年度末時点での施策についての課題認識及びその課題認識を踏まえ、令和4年度に取り組んだことを記載しています。
⑫	二次レビュー(外部評価)	令和4年度の施策レビューにおいて、施策改善推進委員等から受けた主な指摘事項や改善提案を記載しています。 ※施策レビューは令和4年度より試行のため記載があるシートは限られます。
⑬	施策を構成する事業について改善の方向性	令和4年度の事業構成の適正性(拡充・継続・縮小するべき等)の観点から改善点を事業ごとに記載しています。
⑭	施策を構成する事業(政策目標の実現に向けた重点事業・新規事業)	施策を構成する事業で重点度の高いもの及び新規事業を記載しています。
⑮	施策を構成する事業	施策を構成する事業を記載しています。 (⑭に記載の事業は除く)

【補足資料】 事務事業評価シートの見方

I 事業属性

事業名	①				事業コード	
政策体系	基本政策	②		政策目標	③	
	施策名	④		施策コード		
事業担当	所属	⑤			所属長	⑥
⑦ 会計情報	款	項	目	会計	決算付属資料	頁
計画期間	開始年度	⑧	終了予定年度	⑨	関連計画名	⑩
根拠法令等	⑪					
⑫ 事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					
関連事業	⑬					

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	⑭					
⑮ 対象者	対象者数	単位あたりコスト	⑯			
⑰ 実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()					
委託先・実施主体等	⑰					
事業概要 (箇条書き)	⑱					
⑳ 主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容			

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)		
① 当初予算						
			0	0		
			0	0		
② 繰越予算	⑳	0	0	0		
	前年度繰越					
次年度繰越						
小計(①～③)	0	0	0	0		
① 一般財源						
① 流充用額						
① 従事職員数 (正職員/非常勤嘱託職員)	㉕	/	/	/		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	⑳	種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

㉗ 成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
			/	/	/	/	
㉘ 活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	②9	③2 <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	③0	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	③1	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	③3		
改善策	③4		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	③5 事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	③6

VIII 予算反映結果

③7 予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
-----------	--

事務事業評価シートの解説

様式中参照	項目	表の見方・解説
Ⅰ 事業属性	① 事業名	事務事業評価における事業名を記載しています。
	② 基本政策	「まちづくり構想 福知山」の長期ビジョンに掲げる「市民が幸せを生きるための将来像」を実現するための中核的な方針となる9つの基本政策名を記載しています。
	③ 政策目標	各基本政策を実現するため、分野ごとに達成すべき政策目標を記載しています。
	④ 施策名	政策目標を具体的に達成するための施策を記載しています。政策目標⇔施策、施策⇔事業は、それぞれ目的⇔手段の関係にあります。
	⑤ 所属	事業を実施する担当課を記載しています。
	⑥ 所属長	評価内容に責任を有する者（課長級職）を記載しています。
	⑦ 会計情報	予算の歳出費目を記載しています。
	⑧ 開始年度	評価の対象となった事業の開始年度を示しています。
	⑨ 終了予定年度	事業の終了予定年度を示しています。
	⑩ 関連計画名	「まちづくり構想 福知山」を除き、当該事業の位置付けがある計画等を記載しています。
	⑪ 根拠法令等	事業実施の根拠となる法令等を記載しています。
	⑫ 事業区分	法定受託事務／国府補助事業／市単独事業／内部庶務的事業／その他 から選択しています。（複数選択可）
	⑬ 関連事業	関連事業や目的が類似した事業があれば記載しています。
Ⅱ 事業基礎情報	⑭ 事業目的 （施策実現に向けて事業が果たす役割）	施策の課題解決、成果指標の達成に向けて、この事業が果たす役割を示しています。
	⑮ 対象者、対象者数	事業の対象となる者、人数を示しています。
	⑯ 単位あたりコスト	令和4年度総事業費(予算ベース)を対象者数で除した数値です。
	⑰ 実施方法	事業の実施方法（形態）を示しています。市による直接実施、民間等への業務委託や指定管理、補助金交付、工事・修繕等の手法により区分しています。
	⑱ 委託先・実施主体等	事業の実施主体が市と異なる場合、委託先や実施主体等を記載しています。
	⑲ 事業概要	目的を達成するために講じる事業概要等を記載しています。
	⑳ 主な支出に係る業務内容と経費	事業を構成する主な経費について、項目と具体的な経費の内訳を記載しています。（令和4年度実績額）

	様式中 参照	項目	表の見方・解説
㉓ 予算執行状況	㉑	予算情報	当該年度の当初予算額、補正予算額、繰越予算額を記載しています。
	㉒	予算財源内訳	予算額に対する財源を記載しています。
	㉓	決算情報	当該年度の流充用額、配当予算額、執行額、執行率を記載しています。
	㉔	執行率	予算額（人件費は含まない）に対する執行額の割合（百分率）です。
	㉕	従事職員数	年間当たりの業務量(時間)を人員数で示しています。
	㉖	主な利用特財	利用した特定財源の内、主なものを3つまで記載しています。 (令和4年度実績額)
㉔ 業績指標	㉗	成果実績 (アウトカム)	事業の目的(施策実現に向けて事業が果たす役割)を踏まえ、政策・施策目標の達成に寄与する指標を示しています。 右側に当初目標を、左側に実績を併記しています。
	㉘	活動実績 (アウトプット)	成果目標を実現するために、必要な活動を行えたかどうかを測ることができる指標を示しています。 単位あたりコストは、執行額を活動実績で除しています。
㉕ 一次評価自己評価	㉙	必要性	事業の必要性について、市の関与の度合いや市民ニーズ、優先度等の観点に寄与した取組事項を記載しています。
	㉚	効率性	事業の効率性について、手段や方法の比較、コスト削減のための工夫等の観点に寄与した取組事項を記載しています。
	㉛	有効性	事業の有効性について、成果指標等の達成状況等の観点に寄与した取組事項を記載しています。
	㉜	施策・施策成果指標に対する貢献度	施策や施策の成果指標の達成に対する、当該事業の貢献度を示しています。
	㉝	定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	事業目的（施策実現に向けて事業が果たす役割）を踏まえ、指標等の達成状況や定性的な面も含めた担当課による評価及び課題を記載しています。
	㉞	改善策	現状の課題の解決に向けて、事業をより良いものとするための具体的な取組事項を記載しています。
	㉞	事後評価コメント	担当課以外の評価者による事業評価実施後、評価を行革担当課で記載します。
次年度方針	㉟	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	二次評価を受け、担当課による次年度の事業見直し及び予算要求方針を記載します。
	㊱	予算反映結果	事業担当課の方針を受け、予算額への反映状況を記載します。



福知山市
Fukuchiyama city